




AKAI
PROFESSIONAL

APC40 MKII

ユーザ・ガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://akai-pro.jp/>

AKAI
PROFESSIONAL

＜お問い合わせ＞

株式会社ニューマークジャパンコーポレーション

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

ユーザ・ガイド

はじめに

同梱物

- ・ APC40 mkII
- ・ Ableton Live Lite (ダウンロード)
- ・ ソフトウェア・ダウンロード・カード
- ・ USB ケーブル
- ・ User Guide (英文)
- ・ Safety and Warranty Manual (英文)

サポート

APC40 mkII の最新情報につきましては、製品ページをご覧ください。

<http://akai-pro.jp/apc40mkii/>

また、製品のサポートにつきましては、以下のページをご覧ください。

<http://akai-pro.jp/support/>

クイックスタート

1. 同梱の USB ケーブルを使用しコンピュータと APC40 mkII を接続してください。
2. Ableton Live を開いてください。
3. Live メニュー「**環境設定**」を開きます。
 - ・ Windows : **オプション** > **環境設定**
 - ・ Mac OS X : **Live** > **環境設定**
4. **MIDI/Sync** タブをクリックします。
5. **コントロールサーフェイス**のドロップダウンリストより **APC40 mkII** を選択します。
6. **入力**のドロップダウンリストより **APC40 mkII** を選択します。
7. **出力**のドロップダウンリストより **APC40 mkII** を選択します。
8. **環境設定**ウインドウを閉じてください。

以上の操作により APC40 mkII が Live で使用できるようになります。

基本操作について

ここでは Ableton Live の基本的な操作に沿って APC40 mkII の使用方法を案内します。

重要：次の事を行う前に Live のコントローラ APC40 mkII のセットアップを完了させてください（上の「**クイックスタート**」の章を参照してください）。

再生を始める、または一時停止するには、プレイ・ボタンを押してください。

録音を開始するには、レコード・ボタン（通常録音）または**セッション・ボタン**（Live の特長であるセッション録音を実行します）を押してください。

すべてのクリップを停止するには、ストップ・オールクリップ・ボタンを押します。

クリップを再生するには、8 x 5 マトリクスのうち該当する**クリップラウンチ・ボタン**を押します。この 8 x 5 マトリクスは Live 上では長方形で囲まれて表示されています。クリップラウンチ・ボタンは、Live でアサインされているクリップの色と同じ色で点灯します。

クリップを停止するには、クリップを止めたいトラックの **CLIP STOP** ボタンを押してください。

シーンを再生するには、クリップラUNCH・ボタンの 8 x 5 マトリクスの右にある 5 つの **SCENE LAUNCH** ボタンのうち、該当する箇所の **SCENE LAUNCH** ボタンを押してください。

クリップのマトリクスを移動するには、**BANK SELECT** ボタンを使い 8 x 5 マトリクスを動かします。この 8 x 5 マトリクスは Live 上では長方形で囲まれて表示されています。クリップラUNCH・ボタンの色が Live でアサインされているクリップの色と一致していることから確認できます。

特定のトラックをソロで再生するには、そのトラックのソロ・ボタンを押します。

トラックを録音可能な状態にするには、該当のトラックのレコードアーム・ボタンを押します。

トラックのミュートおよびミュートの解除は、トラック・アクティベータ (ソロ・ボタンの上にある、トラック・ナンバの書いてある・ボタン) を押します。

トラックを選択するには、該当のトラック・セクタ・ボタンを押します (**CLIP STOP** ボタンの下にあります)。

ボリュームを調整するには、トラック・ボリュームフェーダを使います。

パンニングを調整するには、**PAN** ボタンを押し、APC40 mkII のアサインابل・ノブをパン・モードにします。現在の 8 トラックのパンニングが 8 つのアサインابل・ノブで調節できます。

センドレベルを調整するには、**SENDS** ボタンを押し、APC40 mkII のアサインابل・ノブをセンド・モードにします。現在の 8 トラックの Send A のレベルを調節することができます。他の Send のレベルを調節するには、**SENDS** ボタンを押したままに対応するトラック・セクタ・ボタン (例えば Send A はトラック・セクタ 1、Send B はトラック・セクタ 2 など) を押すことで切り替えられます。

メモ：リターントラックは Live セットの右端に表示されています。

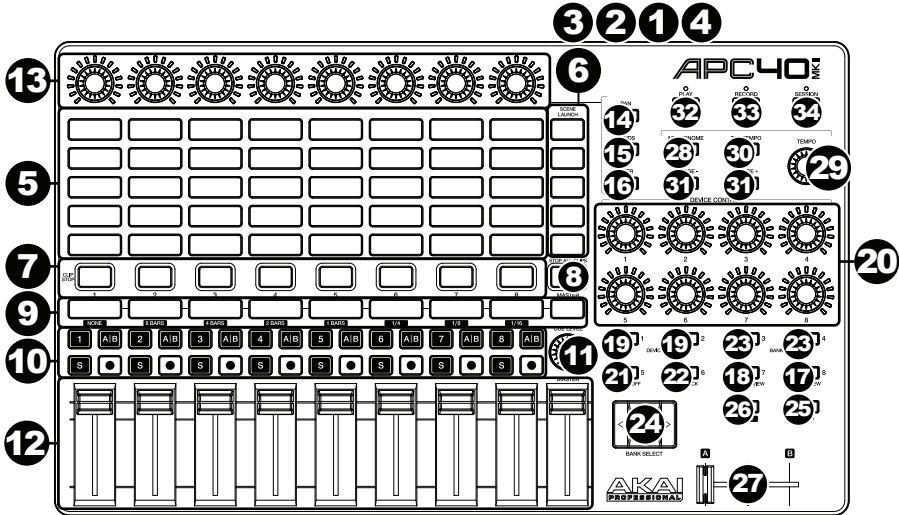
その他の機能をコントロールするのにアサインابل・ノブを使用する場合は、**USER** ボタンを押し APC40 mkII のアサインابل・ノブをユーザ・モードにしてください。ユーザ・モードでは、Live の MIDI Map モードでマッピングできるパラメータは何でもアサインすることができます。

デバイスを調節するには：

1. トラック・セクタでデバイスを調節したいトラックを選びます。
2. 画面の下部に Device View が表示されていない場合、**CLIP/DEV. VIEW** ボタンを押して画面を変更してください。
3. **DEVICE** ←/→ ボタンを押し調節したいデバイスを選択してください。
4. 8 つの **DEVICE CONTROL** ノブを使い現在のデバイスの 1 番目のバンクのパラメータを調節することができます。**BANK** ←/→ ボタンでそのデバイスのバンクを選択することができます。

ヒント：**DEV. LOCK** ボタンのオン / オフで現在選択されているデバイスのロック / アンロックができます。デバイスがロックされていると、どのトラックやデバイスを選択しているかにかかわらず特定のデバイスのコントロールが可能です。

各部の機能



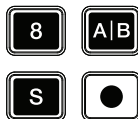
1. **USB ポート**：USB ケーブルを使用しこのポートからコンピュータの USB ポートと接続します。コンピュータの USB ポートから APC40 mkII へ電力を供給します。この接続は MIDI データを送受信するためにも使われます。
2. **パワースイッチ**：APC40 mkII の電源のオン / オフに使用します。
3. **フットスイッチ (FS) 入力端子**：1/4" (6.35mm) TS フットスイッチ (別売) をこの入力ポートへ接続できます。
4. **ケンジントンロック・スロット**：APC40 mkII の保護のためにケンジントンロックの使用ができます。
5. **クリップ・ラウンチ・ボタン**：セッションビュー画面で、8 x 5 で表示されるクリップを再生するのに使用します。それぞれのボタンがひとつのクリップのスロットをあらわしています。8 つの縦の列がそれぞれのトラックをあらわし、5 つの横の列がシーンをあらわしています。クリップラウンチボタンの色は Live 上でアサインされているクリップと同じ色で点灯します。

シーン全体で再生したい場合はクリップの右にある SCENE LAUNCH ボタンを使用します。
6. **SCENE LAUNCH ボタン**：それぞれボタンの左側にあるシーン（クリップの横の列）の再生ができます。
7. **CLIP STOP ボタン**：ボタンの上にあるトラック（クリップの縦の列）の停止ができます。
8. **STOP ALL CLIPS ボタン**：すべてのクリップを停止させます。クリップはそれぞれ最後まで再生されると止まります。
9. **トラック・セレクト**：DEVICE CONTROL ノブでデバイスを調節するとき、トラックを選択するのに使用します。一番右の MASTER と表記されているボタンはマスタトラックを選択します。

SHIFT ボタンを押しながらこれらのボタンを押すと、グローバル・クオンタイズ設定を変更できます。左から NONE、8 BARS、4 BARS、2 BARS、1 BARS、1/4、1/8、1/16 となります。

10. **トラック・ボタン：**

- ・ **トラック・アクティベータ（数字）：**トラックのアンミュートまたはミュートを切り替えます。
- ・ **クロスフェード・アサイン（A|B）：**ボタンを押すごとにクロスフェーダの割り当て（A、B、Off の順）が切り替わります。
- ・ **ソロ（S）：**トラックをソロで再生させたい場合はこのボタンを押してください。
- ・ **レコードアーム（●）：**トラックを録音待機状態にするにはこのボタンを押してください。


 11. **CUE LEVEL ノブ：**キューのボリュームを調整するにはこのノブを使用します。

 12. **トラック・ボリュームフェーダ：**それぞれのトラックの音量を調節するのにこのフェーダを使用します。右端の **MASTER** と表記されているフェーダはマスタトラックの音量を調節します。

 13. **アサインابل・ノブ：**トラックのパンニングや、センドレベル、その他独自にアサインしたパラメータを調節します。

PAN ボタン（14）や **SENDS** ボタン（15）、**USER** ボタン（16）を押すことで（下記の通り）それぞれのモードへ変更することができます。

 14. **PAN ボタン：アサインابل・ノブ**を PAN モードにします。現在の 8 トラックのパンニングがアサインابل・ノブで調節できます。

 15. **SENDS ボタン：アサインابل・ノブ**を SENDS モードにします。現在の 8 トラックの Send A のレベルを調節することができます。

他の Send のレベルを調節するには、**SENDS ボタン**を押したままで対応する**トラック・セレクト・ボタン**（例えば Send A はトラック・セクタ 1、Send B はトラック・セクタ 2 など）を押すことで切り替えられます。

 16. **USER ボタン：アサインابل・ノブ**を USER モードにします。USER モードでは、Live の MIDI Map モードでマッピングできるパラメータは何でもアサインすることができます。

 17. **DETAIL VIEW ボタン：**このボタンを押すことによって、（**CLIP/DEV. VIEW ボタン**（18）によって選択されているクリップビューまたはデバイスビュー）の表示 / 非表示の切り替えができます。**SHIFT ボタン**を押しながらこのボタンを押すと、現在選択しているデバイスのバンク 8 が選択できます。

 18. **CLIP/DEV. VIEW ボタン：**クリップビュー（クリップが表示されプロパティを調節する画面）とデバイスビュー（トラックにアサインされているすべてのデバイスが表示される画面）の切り替えに使用します。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、現在選択しているデバイスのバンク 7 が選択できます。

 19. **DEVICE ←/→ ボタン：**トラックに複数のデバイスがアサインされている場合、それらの選択ができます。それぞれのボタンは次に選択できるデバイスがある方向が点灯します。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、それぞれ現在選択しているデバイスのバンク 1 およびバンク 2 が選択できます。

 20. **DEVICE CONTROL ノブ：**現在選択されているデバイスの 1 番目のバンクのパラメータを調節するのにこれらの 8 つのノブを使用します。**BANK ←/→ ボタン**（23）で指定されているデバイスのバンクが選択できます。他のデバイスを選択するには **DEVICE ←/→ ボタン**（19）を使用します。

21. **DEV. ON/OFF ボタン**：現在選択されているデバイスが有効 / 無効かを切り替えます。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、現在選択しているデバイスのバンク 5 が選択できます。

22. **DEV. LOCK ボタン**：デバイスの固定とその解除ができます。デバイスロックで固定した場合、Live セットのどのトラックやデバイスを選択・表示しているかにかかわらず、デバイスコントロールノブで、固定したデバイスの調節ができます。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、現在選択しているデバイスのバンク 6 が選択できます。

23. **BANK ←/→ ボタン**：デバイスのコントロールバンクを選択するのに使用します。それぞれのボタンは次に選択できるバンクがある方向が点灯します。ウインドウの下のステータスバーに現在のバンクが示されません。

SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、それぞれ現在選択しているデバイスのバンク 3 およびバンク 4 が選択できます。

24. **BANK SELECT ボタン**：Live セット内のカーソルとしてトラック（左右）やシーン（上下）を移動するのに使用します。

BANK ボタンを押しながらカーソルボタンを使用すると 8 x 5 マトリクスの選択範囲と共に移動します（選択範囲は Live 上で長方形で囲まれて表示されています）。**クリップラUNCH・ボタン**の色は Live 上でアサインされているクリップと同じ色で点灯しています。

メモ：リターントラックは Live セットの右端に表示されています。

25. **BANK ボタン**：押している間、**BANK SELECT ボタン**が選択範囲ごと移動することを有効 / 無効にします。BANK ボタンを押している状態でカーソルボタンを使用すると 8 x 5 マトリクスの選択範囲と共に移動します（選択範囲は Live 上で長方形で囲まれて表示されています）。**クリップラUNCH・ボタン**の色は Live 上でアサインされているクリップと同じ色で点灯しています。

26. **SHIFT ボタン**：このボタンを押しながら他のボタンを押すことでそれぞれのサブ機能として操作することができます。

SHIFT ボタンを押したままの状態では、8 x 5 マトリクスはセッションオーバービュー・モードになります。セッションオーバービュー・モードでは、ひとつの**クリップラUNCH・ボタン**が 8トラックと 5シーンのマトリクスを表します。このモードによって現在表示されているマトリクスの外にもアクセスすることができます。セッションオーバービュー・モードでは、ボタンは次のような色で点灯します。

- ・ **消灯**：この 8 x 5 マトリクスの中には何もクリップがアサインされていません。
- ・ **オレンジ**：この 8 x 5 マトリクスの中に何らかのクリップがアサインされており、現在選択中のマトリクスです。
- ・ **緑**：この 8 x 5 マトリクスの中に何らかのクリップがアサインされており、現在再生中のクリップがあります。
- ・ **赤**：この 8 x 5 マトリクスの中に何らかのクリップがアサインされており、再生中のクリップがない状態です。

メモ：セッションオーバービュー・モードにおいて、現在選択中の範囲が 2 つのマトリクスを表す**クリップラUNCH・ボタン**に跨る場合、2 つのボタンはいずれもオレンジに点灯します。

27. **クロスフェーダ**：Live 上のクロスフェーダをコントロールするにはこのクロスフェーダを使用します。

28. **METRONOME ボタン**：メトロノームを有効 / 無効にします。

- 29. **TEMPO ノブ**：テンポを調節します。
- 30. **TAP TEMPO ボタン**：このボタンをタップするタイミングでテンポが入力されます。
- 31. **NUDGE -/+ ボタン**：一時的にテンポを速めたり遅くしたい場合に使用します。
- 32. **PLAY ボタン**：再生、一時停止します。
- 33. **RECORD ボタン**：アレンジメントレコードを開始または停止するにはこのボタンを押します。
- 34. **SESSION ボタン**：セッション録音を開始または停止する際にこのボタンを押します。

付録

仕様

ノブ ：	8 x 360°回転 PAN、SENDS、アサインابل・ノブ 8 x 360°回転 DEVICE CONTROL ノブ 1 x 360°回転 CUE LEVEL ノブ 1 x 360°回転 TEMPO ノブ
クリップラウンチ・ボタン ：	40 x RGB バックライトつき 8 x 5 マトリクス 5 x SCENE LAUNCH ボタン
フェーダ ：	8 x 45mmトラック・ボリュームフェーダ 1 x 45mm MASTER ボリュームフェーダ 1 x 45mm クロスフェーダ
入出力端子 ：	1 x USB ポート 1 x 1/4" TS フットスイッチ入力端子
電源 ：	USB バスパワー駆動
サイズ ：	約 424 x 254 x 46mm (W x D x H)
重量 ：	約 1.8kg

商標およびライセンス

AKAI professional は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国で登録されています。

Ableton および Ableton ロゴは、Ableton AG の商標です。

Mac および OS X は Apple Inc. の商標で、米国およびその他の国で登録されています。

Windows は、米国およびその他の国々において、Microsoft Corporation の登録商標です。

Kensington および K & Lock ロゴは ACCO Brands の登録商標です。

その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

